

28年度 第1回 経済成長のけん引分科会 議事録

(1) 日 時：平成28年12月20日（火）15：30～16：50

(2) 場 所：久留米市役所 3階 305会議室

(3) 出席者：ビジョン懇談会委員16名（2名欠席）
事務局4名、各ワーキンググループ職員
※ワーキンググループは以下WGと表記

(4) 次第及び議事： 〔○…委員質問・意見 ●…事務局等回答〕

1. 開会
2. 議事
(1) 久留米広域連携中枢都市圏ビジョン
①成果指標の評価について
〔取組みの状況・成果指標の評価について説明〕 (質疑なし)
(1) 久留米広域連携中枢都市圏ビジョン
②平成28年度連携事業の進捗状況及び平成29年度事業計画について
「産学金官民が一体となった圏域の経済成長等の推進体制の整備」
〔産学金官民が一体となった圏域の経済成長等の推進体制の整備について説明〕 (質疑なし)
「地域資源を活用した地域経済の裾野拡大」
〔地域資源を活用した地域経済の裾野拡大について説明〕
○アンテナショップ事業について、運営事業者のプロポーザルには何社の応募があったのか。運営事業者は決定したのか。
●運営事業者のプロポーザルには、4社の応募があった。12月17日にプレゼンテーションを聞き、現在、審査手続きを行っている。年内には決定したい。
○アンテナショップ事業は、地元業者にとって良い事業であるので、期待している。
○アンテナショップの事業計画について、説明をお願いしたい。
〔アンテナショップ事業計画について説明〕
○アンテナショップについては、大きい事業費となっているが内訳を教えてください。
●アンテナショップの賃借料として、共益費を含んで年間3,800万円、設備等の整備として約6,600万円、その他にはアンテナショップを活用したイベント等実施を考えている。
○インターネットショップ活用事業について、セミナーの開催がされているが、圏域からの参加者が少ないようである。連携して取り組む事業なので、圏域からの参加者を増やすことが必要であると考えるが、今後の考え方はあるのか。
○同様に圏域農産物の販売力強化における6次産業化交流会についても、教えていただきたい。
●インターネットショップ活用事業での広報については、圏域の市町の広報誌の活用や商工団体への呼びかけなどを行い、圏域からの参加者の増加に向けて取組みたいと考えている。
●圏域農産物の販売力強化事業においても、圏域の認定農業者等に対し、しっかりと参加の呼びかけを行っていききたい。
「地域産業の育成」

〔地域産業の育成について説明〕

- 新産業団地整備事業で、企業誘致の主体は県、久留米市、うきは市のどこがやるのか。想定している誘致企業数はあるのか。
- 事業主体は福岡県であるが、久留米市、うきは市も協力して取組んでいる。誘致においても県が主体ではあるが、協力して企業誘致セミナーの開催などを開催していく予定である。企業側から求められる面積にもよるが、10社程度を想定している。
- 産業団地のおおよその完成時期は。
- 現時点では、平成31年度分譲開始を目指している。

「戦略的な観光の推進」

〔戦略的な観光の推進について説明〕

- 観光キャンペーン事業について、4市2町の連携市町を周遊するようなモニターツアーや周遊バスなどに取組んではどうか。
- 圏域内の観光資源となる素材を協議し、その素材を活用するため、周遊バスなども一つの手段として今後検討していきたい。
- スポーツコミッション事業ですが、資料の記載に無いラグビーワールドカップ2019のキャンプ地誘致のような提案について、この懇談会の場で意見を出して構わないのか。
- 広域での大会誘致、キャンプ地誘致の取組みは可能であるので、ご意見はいただきたい。
- 近隣市町として、関わりを実感できるのは「まち旅博覧会」だけである。他の事業において、もちろん、近隣市町の担当課にもお願いして、各市町からの働きかけも重要であるが、久留米市の担当部局の方にも広域連携の取組みとして、意識して事業の推進をお願いしたい。
- 同様の意見である。
- 各市町と連携を図り、観光資源となる素材を検討していきたい。
- ここに同席しているワーキンググループリーダーは、久留米市職員がつとめているが、それぞれのワーキンググループには、各市町の担当課職員も入っている。各市町から連携した方がいい取組みなどがあれば、各市町の担当の方にも話をさせていただきたいと考えている。

(2) その他

〔次回、全体会の案内〕

- これで本日の懇談会は終了する。